

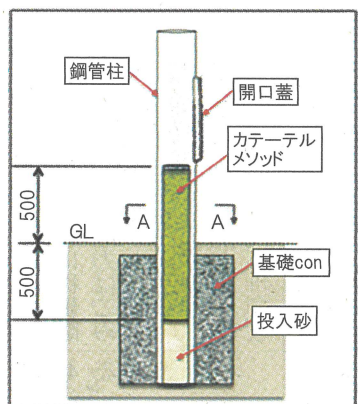


120th
SUGA
須賀工業株式会社
本社 〒110-0005 東京都台東区上野5-18-10
電話 03-5688-8100
URL https://www.suga-kogyo.co.jp/

環境と未来の世代のために。

腐食した鋼管柱を内部から補修

FRPシップ工法施工イメージ図



長さ1m(標準:地上50cm地下50cm)のアラミドバックを鋼管柱内に挿入し、アラミドシートを空気圧で管内面に貼付した後、モルタルを充填し硬化

トッププランニングJAPAN「FRPシップ工法」

経営 軸線

道路照明などで設置している鋼管柱は、設置後おおむね25年以上経過すると路面境界部や内部の腐食によって突然倒壊するリスクを抱えているとされる。全国には交換の必要がある鋼管柱は大量に存在しているが、コストの問題などからリスクを抱えたままの鋼管柱も多い。トッププランニングJAPAN(東京都中央区、村山哲生代表取締役)の「FRPシップ工法」は、そうした鋼管柱を安価で安全に補修できる工法だ。

ことが出来る。既存設備の撤去もなく、廃棄物が発生せず環境にも優しい。

地下腐食部分の補修も可能で、路面境界部を新品同等以上の強度に再生する。腐食で穴が開いていてもモルタルが流出することはない。さらに、コスト面では建て替えた場合の約3割程度に抑えられるなど、多くの特長がある。



腐食が進んだ鋼管柱



高度経済成長期の道路延伸に合わせて全国各地で設置された街路灯などで支柱として使用されている鋼管柱は、路面境界部の腐食など老朽化による倒壊リスクが深刻な問題となっている。鋼管柱の耐用年数は早いもので10年程度とされ、設置後21年以上では40%が倒壊の危険を伴うとするデータもある。国土交通省道路局の調査結果では、設置後おおむね25年以上経過した道路照明柱は、塗装の塗り替えなどで外面が一見健全であっても、路面境界部や内部の腐食で突然の倒壊を起す可能性があることが明らかになっている。

老朽化した鋼管柱の危険性は広く認識されているが、道路照明柱の照明部分にはさまざまな補助や助成があるものの、支柱部分には補助や助成がないためコスト負担が少なくない。また、従来工法では基礎のコンクリートにも手を加えなければならなかったため、時間がかかることも課題となっている。

事前防災・減災の考えに基づき、日本の産業競争力を高め「強くてしなやかな国」をつくるための「国土強靱化(ナショナル・レジリエンス)」に関する総合的な施策づくりや、その推進を目的としたレジリエンスジャパン推進協議会は、ワーキンググループ(WG)の1つとして「老朽街路灯・鋼管柱強靱化促進研究会先進ソリューション」を活用した実証・検証WGを設けている。同WGは、従来工法よりも「時間と予算を削減する新工法」の普及促進が倒壊の危険低減や有事の際の早期復興につながるという考えのもと各種議論や検討を進めており、トッププランニングJAPANの村山代表取締役も専門委員の1人として参加している。



道路照明の支柱などが主なターゲット

開口蓋から材料を充填する

自然災害への事前対策にも

村山代表取締役は、同工法について「社会のために役立つ工法で、昨今頻発する自然災害への事前対策にもなるため、さらなる普及に努めていく」と語る。また、鋼管柱だけでなくコンクリート柱も含む大半の中空ポールに適用可能であることから、大きな潜在市場が見込める海外の先進国への展開も視野に入れているという。

同社は7月14・16日、大阪市のインテックス大阪で開催する「メンテナンス・レジリエンスOSA K2021」内の「第6回建設資材展」に出展し、同工法の展示を予定している。

復旧支援体制を構築

助太刀 埼玉・横瀬町と災害協定

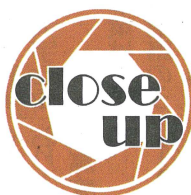
建設現場で働く人を支援するアプリ「助太刀」を運営する助太刀(東京都渋谷区、我妻陽一社長)は、埼玉県横瀬町と「災害時における応急対応の協力に関する協定書」を締結した。横瀬町の建設事業者は、災害時に助太刀の災害支援機能を活用することで全国の支援可能な建設事業者と連携できる。復旧支援体制を構築することにより、災害現場における人手不足の解消に貢献する。

近年、激甚化する災害が頻発する一方で、復旧・復興の担い手不足が課題になっている。横瀬町は、14万人の建設事業者が登録する助太刀アプリを活用し、災害時の復旧支援体制の構築を進める。

助太刀アプリのユーザーの

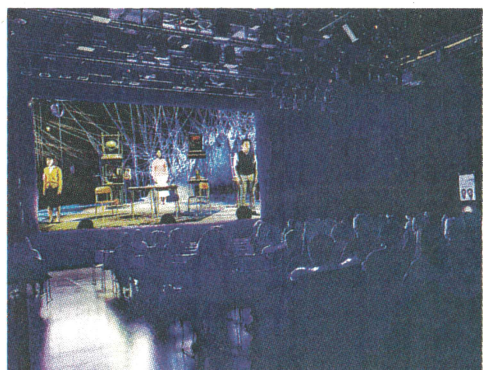
ミュージカルを「アーカイブ上映」

舞台芸術の可能性探る



舞台上演されたミュージカル作品を改めて映像編集し直し、実際の観劇に劣らない感動をスクリーンで「アーカイブ上映」によって届けようという、これからの舞台芸術の可能性を探る試みが5日から9日まで、東京都世田谷区のi T S C O M STUDIO & HALL 二子玉川ライズであった。文化庁委託事業「文化芸術収益力強化事業」の一環として、東急とシアターワークショップが主催したもので、5日間で延べ293人の観客が訪れた一写真。

このミュージカルは、早大ミュ



1月23日から25日にかけて渋谷区のヒカリエホールで上演したほか、二子玉川ライズでも同時にライブ配信上映した。

今回、さらにアーカイブ上映として、350インチスクリーンでの4K映像配信により臨場感あふれる観劇体験を提供。

「今を生きる」というテーマと

NEWS FLASH

健康安全性評価を取得
複合施設で国内初

コクヨは、同
ブオフィスと
ムで、WELL
のIWBI(国際
デザイン協会)
評価「WELL
h-safety
ng」(WELL
評価)を、複合
ーにおいて取得
設力テグリー
初となる「写真
WELL健康
は、新型コロナ
の感染症やその